

『 建築模型の製作 』 ～せんだいメディアテーク～

1. はじめに

これまでに建築科で学んだ知識や技術を活かしてスケールの大きなカッコいい作品を作りたいと考え、建築模型の製作に挑戦しました。建築模型は図面だけでは分かりにくい設計者の意図を相手に伝えるために必要となります。本研究では、建築模型の製作を通して模型製作の技術や建築の知識を深めることを目的とします。

2. 研究内容

建築模型によって構造とデザインが伝わるようにリアルに表現することを目標に取り組みました。せんだいメディアテークは、宮城県仙台市にある複合施設で世界的な建築家である伊東豊雄が設計した建築物です。13本の鉄骨でできた円柱と7枚の床で構成し、各階異なる平面計画となっています。製作には厚さ3mmと2mmのスチレンボードを使用しています。建築物単体だけでなく、そこを利用する人や敷地、隣接する道路など細部にこだわって製作を行いました。(図1・図2・図3) 製作の流れは以下の通りです。①図面の準備 ②スチレンボードに図面を貼り付ける ③柱(チューブ)が入る部分を円形にカット ④柱(チューブ)の元となる部材の製作 ④部材の組み立て ⑤人・敷地・外構等の仕上げ。



図1 内観写真



図2 外観写真

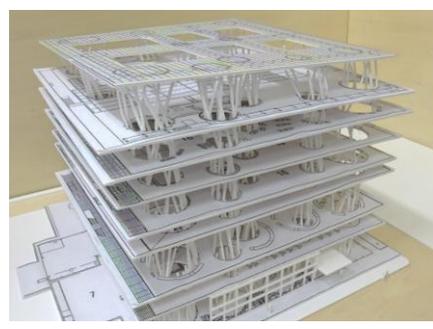


図3 完成写真

3. おわりに

当初は、建築物の内部も作る予定でしたが、作業の計画が甘かったため、時間が無くなり作ることができませんでした。もう少し念入りに計画を立てればよかったと感じます。成果としては、製作を通して大きな達成感を味わうことができました。また、これまで知らなかった建築物の構造やデザインについて理解を深めることができたと思います。細かな作業の連続だったので途中心が折れそうになりましたが、集中力を身につけることができました。さらに、模型の製作や発表用資料の作成を通して人に物事を分かりやすく伝えるということの難しさや楽しさを実感することができました。